

あつぎ脱炭素アクションプラン作成検討の枠組み

あつぎ気候市民会議実行委員会 第4回会議9月17日

大テーマ	CN ロード マップ	地球温暖化対策実 行計画 第5章削減 目標の達成に向け た施策の柱	カテゴリー	【サンプル(例)】 取り組みたいカテゴリー：何をどのように したいのか	キーワード (第3回会議までに出てきた意見、アンケート意見+専門家アドバ イス)
普及・啓発	○	第4章削減目標 P.28~29 第5章 4 P.48~50	市民の理解・協働	CO ₂ 排出量を知り進捗や効果の見える化で 脱炭素アクションのやる気をアップしよ う。	毎年のCO ₂ 排出量(各部門・全体)を知る。再エネ導入による削 減量と省エネによる削減量を知り、目標に対する達成度がわかる ようにする。エネルギー自給率を知る。カーボンニュートラル ロードマップや脱炭素市民アクションプランを市民がよく理解す る。
A-1 創エ ネ・エネ ルギーの地産地 消	◎	1 P.34~37	太陽光発電 蓄電池	厚木市内に太陽光発電・蓄電池をどんどん 増やそう	公共施設；太陽光発電・蓄電池設備設置、購入電気はすべて再エ ネ、市内オフサイトPPAの需要者 戸建て住宅；太陽光発電・蓄電池設備設置 自家消費 購入電気 は再エネ電気にする EV車を蓄電池として使う 新築は義務化 補助金 集合住宅；太陽光発電・蓄電池設備～共用部分,EV車充電用 公営住宅；所有自治体が太陽光発電・蓄電池設備設置 ソーラーシェアリング；オフサイトPPA 市民農園に設置 景観へ の配慮 大 型店舗、大学、倉庫など；太陽光発電設置義務化 ソーラーカー ポート 未利用地；環境アセスメント 生態系・防災・景観への配慮 新技術；ペロブスカイトなど新技術を積極導入 自然災害時の備え、対応、防災、蓄電池
	○	1-① P.35	地域新電力	厚木に地域新電力をつくり再エネを地産地 消しよう	再エネ電気の地産地消、卒FITの買い取り、オフサイトPPA すべての市民が再エネを使える仕組み・ルール
	○	1 P.34	地域エネルギーマ ネジメントシステ ム		第4回会議で情報提供(小田原市)
	○	1 P.34 ,P.36	その他の再エネ発 電・熱利用	その他の発電・熱利用の可能性も探ろう	ポテンシャル調査、建物、農地の太陽光以外の可能性、バイオマス 発電(間伐材チップ)・熱供給、森林育成・林業活性化、尿尿バ イオマス発電、風力発電、小水力発電(河川、上下水道)、地熱 発電、バイオマス熱利用、太陽熱利用、集合住宅温水供給、ソー ラークッキング、「人の動き」から発電(トレーニングマシー ン、駅の改札口通行など)

アクションプランの例

大テーマ	CN ロード マップ	地球温暖化対策実 行計画 第5章削減 目標の達成に向け た施策の柱	カテゴリー	【サンプル（例）】 取り組みたいカテゴリー：何をどのように したいのか	キーワード (第3回会議までに出てきた意見、アンケート意見+専門家アドバ イス)
A-2 移動・ま ちづくり	○	2-③ P.42~43	コンパクトシティ	コンパクトシティ：歩いて暮らせる楽しい まちをつくらう	住んでいる地域で衣食の買い物できる 職住接近・徒歩&自転車 通勤の促進、テレワーク 住みたくなる街⇒人口増加 スマート シティ 郊外に駐車場、市街地はマイカー乗り入れ禁止、 街中は公共の乗り物、おしゃれな街、休憩所・カフェ、緑が多く 歩きやすい、地下街
	○	2-④ P.42~43	公共交通	使いやすく便利な公共交通を積極的に利用 しよう	バスの路線・本数 バス専用レーン +自転車（サイクル&バス ライド） EV車
	○	2-③ P.42~43	車の所有	「車の所有が当たり前」を転換しよう	レンタカー カーシェアリング カー乗り合いシステム ライド シェア 例えば自治会単位で情報共有
	◎	2-③ P.42~43 事務事業編P.10	電気自動車（EV 車）	CO ₂ 排出のない電気自動車（EV車）を普及 しよう	公用車はすべてEVに、公共交通・タクシーなどをEVに、自家用車 をEVに、 再エネで充電できる場所を増やす、コンビニな ど店舗や集合住宅に充電設備、EV車の技術改善、保険料を安く、 税金を安く、補助金
	○	2-③ P.42~43	自転車	自転車を使いやすいまちにしよう	レンタサイクル バス停にレンタサイクル・シェアサイクル ア シストサイクル 自転車専用道の整備 マナーアップ キックボード
	○	2-③ P.42~43	新しい移動手段	新しい移動手段や市内の円滑な道路体系で 快適な暮らしを	グリーンスローモビリティ、モノレール、路面電車、コミュニ ティー交通・ミニバス、飛行船、気球、（宇宙エレベーター）、 MaaS：医療や行政サービスやお店がやってくる、ドローンで配達

アクションプランの例

1. EV車の利用促進
1-1. 集合住宅に住む市民も再エネ電気を使ってEVを充電する。
1-2. 市は集合住宅にも充電施設設置を促進する仕組みをつくる。（もっと具体的に）

大テーマ	CN ロード マップ	地球温暖化対策実 行計画 第5章削減 目標の達成に向け た施策の柱	カテゴリー	【サンプル（例）】 取り組みたいカテゴリー：何をどのように したいのか	キーワード (第3回会議までに出てきた意見、アンケート意見+専門家アドバ イス)
B-1 省エネ・ 住まい	◎	2-①② P.38 ~ 40	省エネ建築	省エネ住宅でCO ₂ 排出削減と健康な生活をおくろ う。公共施設やお店・事業所も省エ ネ建築にしておこう。	新築はすべてZEH,ZEB 条例化 2025年度建築物省エネ法 補助 金 初期投資かかるが省エネで回収 推奨住宅の公開・展示 相 談・情報提供 ZEBでクールシェア、ウォームシェアできる場 所
	◎	2-① P.39	住まいの断熱性能	既存住宅や集合住宅も断熱性能を上げて CO ₂ 排出削減と健康な生活をおくろ う	断熱性能の効果を周知・相談できる窓口 断熱性能の表示・基準 法規制が必要 補助金 モデルルーム展示 DIY推奨（講習、材料 販売店） 団地・集合住宅での断熱化・DIY 賃貸住宅の対応 健 康へのメリット=ヒートショック対策・熱中症対策に有効 ウィ ンドキャッチャー活用、換気システム グリーンカーテン
	○	2-① P.39	太陽集熱器	太陽集熱器を活用しよう	給湯 床暖房 インフラ化して地域温水供給
	◎	2-① P.39	省エネ家電	省エネ家電への買い替えで節電もできる	消費電力指数 通年エネルギー消費効率（APF）を知る ヒートポ ンプ式空調などの家電 LED照明 熱交換機器 推奨製品の紹 介・展示・情報提供・公的な相談窓口 購入の補助 オール電化 停電時のリスク

アクションプランの例

大テーマ	CN ロード マップ	地球温暖化対策実 行計画 第5章削減 目標の達成に向け た施策の柱	カテゴリー	【サンプル(例)】 取り組みたいカテゴリー：何をどのように したいのか	キーワード (第3回会議までに出てきた意見、アンケート意見+専門家アドバ イス)
B-2 消費・ 食・農・廃棄	○	2-⑤ P.44 4ライフスタイル	適量消費	「適量消費」必要な物だけを買うライフス タイルや価値観に転換しよう	量り売りの店 量り売り用容器の規格化、容器や瓶を販売 デポ ジット(容器返却・返金) マイボトル・マイ容器 お得感があ ること 食品ロスの削減 一定規模以上の店舗には量り売りコー ナー必須とする 自動販売機多すぎ 給水機 エシカル消費 エ シカル消費の認知度を上げる(店を増やす、公認マーク、エシカ ル指数表示) 買いやすくする(付加価値をつける、税率下げ る) 価値観を変える(エシカルはカッコいい) サプライ チェーンの情報を見える化
		直接は無し 4ライ フスタイルの変革 P.48	CO ₂ 排出の少ない 商品	カーボンフットプリント(CFP)によって CO ₂ 排出の少ない商品を選択しよう	CFPを市民に周知 CFP表示をメーカーに義務付け CFPマークを つける CFPが大きい商品への課税 CFP小さい商品購入のインセ ンティブ CO ₂ 削減量が見える化 店に貼り紙・のぼり旗
	○	2-⑤ P.44 4ライフスタイル	衣類	衣類 リユース、リサイクル、アップサイ クルで大切に長く使おう	譲り合い リサイクルショップ・メルカリ リユース不可のもの はリサイクルへ リサイクル商品ブランド化(厚木ファッショ ン) 服の販売にはポイント制の活用がいい 廃棄衣類をアフリ カなどへ持っていくことの是非 コットン生産での農薬や大量水 使用の課題(オーガニックコットン以外)
	○	2-②⑤ P.40~44 4 ライフスタイル	食品・農業	地域や地球が持続可能な循環型食材を食べ て健康に暮らそう	有機農業 不耕起栽培 フェアトレード農産物の充実 学校給食 に地元食材・有機食材 地元農産物の販売所を多く仕事帰りにも 買えるように・市がクーポン券配布・利用額に応じた特典 食の 認証を知ってもらう(有機JAS,RSPO,ASCなど) 認証付きにイ ンセンティブを 牛肉のCFPが高いことを周知、学校教育で取りあつかう 代替肉や 昆虫食を容易に入手できるように メタンガス排出の少ない牛を 開発
	◎	2-⑤ P.44 4ライフスタイル	フードロス 生ごみ削減	フードロスや生ごみを削減しよう	生ごみコンポスト等 補助金 ごみ有料化、戸別収集消費期限、 賞味期限 お店、コンビニ、レストランの食品ロス削減取り組み
	○	2-⑤ P.44 4ライフスタイル	石油由来のプラス チック	化石燃料(石油など)から作られるプラス チック製品を減らそう	プラスチック製品削減⇒天然素材代替、使い捨てプラスチックを 減らす、生分解性プラスチック活用(ただし生分解性の条件、時 間を考慮する必要あり、コスト課題)、植物原料プラスチックの 活用 ストロー(紙、竹、シート型で長期使用) マイボトル、マ イコップを持参する
	◎	2-⑤ P.44 4ライフスタイル	プラごみ	プラごみを減らす、リサイクル・資源化で 循環を	食品トレー プラ個包装食品 対策は量り売り 汚れたプラ容器 の出し方(水洗い?燃えるゴミ?) サーマルリサイクル=プラ ごみを燃やして熱回収(~発電)方法の是非 マテリアルリサイ クル、ケミカルリサイクル

アクションプランの例

1. カーボンフットプリントの表示普及
 - 1-1. 市民は商品に表示されたカーボンフット
プリントを見て買うものを選ぶようにする。
 - 1-2. 商品に表示できる仕組みを事業者が作り、
行政はそのあと押しをする。(もっと具体的に)